

1

臨床疑問の設定

● 臨床疑問 1-1

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
進行性疾患患者における呼吸困難に対する酸素療法の有効性			
CQの構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	進行性疾患患者 (がん, 慢性呼吸器疾患, 慢性心不全, 神経疾患, など), 呼吸困難あり, 低酸素血症を有する		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: 酸素吸入 (高流量鼻カニューラ酸素療法, 陽圧換気は除く)			
C: 空気吸入 (プラセボ), 無治療			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcomeの内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	運動耐容能 (6MWT など) の向上	益	7点
O3	Quality of Life の向上	益	7点
O4	意識障害・傾眠	害	7点
O5	不快感 (鼻腔・顔面など)	害	4点
作成した CQ			
安静時低酸素血症があり呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して, 酸素吸入を行うことは呼吸困難の緩和に有用か?			

● 臨床疑問 1-2

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
進行性疾患患者における呼吸困難に対する酸素療法の有効性			
CQの構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	進行性疾患患者 (がん, 慢性呼吸器疾患, 慢性心不全, 神経疾患, など), 呼吸困難あり, 低酸素血症がない, または軽度にとどまる		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: 酸素吸入 (高流量鼻カニューラ酸素療法, 陽圧換気は除く)			
C: 空気吸入 (プラセボ), 無治療			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcomeの内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	運動耐容能 (6MWT など) の向上	益	7点

(つづく)

O3	Quality of Life の向上	益	7 点
O4	意識障害・傾眠	害	7 点
O5	不快感（鼻腔・顔面など）	害	4 点
作成した CQ			
安静時低酸素血症がない、または軽度にとどまるが呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、酸素吸入を行うことは呼吸困難の緩和に有用か？			

●臨床疑問 2

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
進行性疾患患者の呼吸困難に対する高流量鼻カニューラ酸素療法 (high flow nasal cannula oxygen : HFNC) の有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	進行性疾患患者（がん、慢性心不全、慢性呼吸器疾患、神経疾患、など）、呼吸困難あり、低酸素血症を有する		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I : 高流量鼻カニューラ酸素療法 (high flow nasal cannula oxygen : HFNC)			
C : (通常の) 酸素吸入, 非侵襲的陽圧換気			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9 点
O2	Quality of Life の向上	益	7 点
O3	不快感	害	7 点
O4	皮膚障害	害	5 点
作成した CQ			
低酸素血症があり呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、高流量鼻カニューラ酸素療法 (high flow nasal cannula oxygen : HFNC) を行うことは呼吸困難の緩和に有用か？			

● 臨床疑問 3

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
進行性疾患患者の呼吸困難に対する、送風療法（顔への送風）の有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	進行性疾患患者（がん、慢性心不全、慢性呼吸器疾患、神経疾患、など）、呼吸困難あり		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I：送風療法（顔への送風） C：顔以外への送風、あるいは送風以外の薬物療法を除く介入、もしくは介入なし。			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	安心感・自己効力感	益	7点
O3	不快感	害	7点
作成した CQ			
呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、送風療法（顔への送風）を行うことは有用か？			

● 臨床疑問 4-1

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するオピオイドの有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	がん患者、呼吸困難あり		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I：モルヒネ全身投与 C：プラセボ、あるいは呼吸困難の緩和目的に用いられたI以外の薬物の全身投与			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	Quality of life の向上	益	8点
O3	傾眠	害	6点
O4	重篤な有害事象	害	8点
作成した CQ			
呼吸困難を有するがん患者に対して、モルヒネ全身投与は有用か？			

● 臨床疑問 4-2

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するオピオイドの有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性 別	指定なし		
年 齢	成人		
疾患・病態	がん患者, 呼吸困難あり		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: オキシコドン全身投与			
C: プラセボ, あるいは呼吸困難の緩和目的に用いられたI以外の薬物の全身投与			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	Quality of life の向上	益	8点
O3	傾眠	害	6点
O4	重篤な有害事象	害	8点
作成した CQ			
呼吸困難を有するがん患者に対して, オキシコドン全身投与は有用か?			

● 臨床疑問 4-3

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するオピオイドの有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性 別	指定なし		
年 齢	成人		
疾患・病態	がん患者, 呼吸困難あり		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: ヒドロモルフォン全身投与			
C: プラセボ, あるいは呼吸困難の緩和目的に用いられたI以外の薬物の全身投与			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	Quality of life の向上	益	8点
O3	傾眠	害	6点
O4	重篤な有害事象	害	8点
作成した CQ			
呼吸困難を有するがん患者に対して, ヒドロモルフォン全身投与は有用か?			

● 臨床疑問 4-4

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するオピオイドの有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	がん患者, 呼吸困難あり		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: フェンタニル全身投与 C: プラセボ, あるいは呼吸困難の緩和目的に用いられたI以外の薬物の全身投与			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	Quality of life の向上	益	8点
O3	傾眠	害	6点
O4	重篤な有害事象	害	8点
作成した CQ			
呼吸困難を有するがん患者に対して, フェンタニル全身投与は有用か?			

● 臨床疑問 4-5

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するオピオイドの有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	がん患者, 呼吸困難あり		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: モルヒネ吸入 C: プラセボ吸入/全身投与, あるいはオピオイドの全身投与			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	Quality of life の向上	益	8点
O3	傾眠	害	6点
O4	重篤な有害事象	害	8点
作成した CQ			
呼吸困難を有するがん患者に対して, モルヒネ吸入は有用か?			

● 臨床疑問 5-1

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するベンゾジアゼピン系薬の有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性 別	指定なし		
年 齢	成人		
疾患・病態	がん患者, 呼吸困難あり		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: ベンゾジアゼピン系薬単独			
C: プラセボ, あるいは呼吸困難の緩和目的に用いられたベンゾジアゼピン以外の薬剤の単独全身投与			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9 点
O2	不安の緩和	益	6 点
O3	重篤な有害事象	害	8 点
O4	傾眠	害	6 点
作成した CQ			
呼吸困難を有するがん患者に対して, ベンゾジアゼピン系薬の単独投与は有用か?			

● 臨床疑問 5-2

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するベンゾジアゼピン系薬の有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性 別	指定なし		
年 齢	指定なし		
疾患・病態	がん患者, 呼吸困難あり		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: ベンゾジアゼピン系薬とオピオイドの併用			
C: ベンゾジアゼピン系薬単独もしくはオピオイド単独			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9 点
O2	不安の緩和	益	6 点
O3	重篤な有害事象	害	8 点
O4	傾眠	害	6 点
作成した CQ			
呼吸困難を有するがん患者に対して, ベンゾジアゼピン系薬をオピオイドに併用することは有用か?			

● 臨床疑問 6-1

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するコルチコステロイドの有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	がん患者, 呼吸困難あり		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: コルチコステロイドの全身投与 C: プラセボ, あるいは呼吸困難の緩和目的に用いられたI以外の介入			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	Quality of life の向上	益	8点
O3	せん妄	害	8点
O4	重篤な有害事象	害	8点
作成した CQ			
呼吸困難を有するがん患者に対して, コルチコステロイドの全身投与は有用か?			

● 臨床疑問 6-2

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するコルチコステロイドの有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	がん患者・がん性リンパ管症		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: コルチコステロイドの全身投与 C: プラセボ, あるいは呼吸困難の緩和目的に用いられたI以外の介入			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	Quality of life の向上	益	8点
O3	せん妄	害	8点
O4	せん妄以外の有害事象	害	7点
作成した CQ			
がん性リンパ管症による呼吸困難を有するがん患者に対して, コルチコステロイドの全身投与は有用か?			

● 臨床疑問 6-3

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するコルチコステロイドの有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	がん患者・上大静脈症候群		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: コルチコステロイドの全身投与			
C: プラセボ, あるいは呼吸困難の緩和目的に用いられたI以外の介入			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	Quality of life の向上	益	8点
O3	せん妄	害	8点
O4	せん妄以外の有害事象	害	7点
作成した CQ			
上大静脈症候群による呼吸困難を有するがん患者に対して, コルチコステロイドの全身投与は有用か?			

● 臨床疑問 6-4

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)			
がん患者の呼吸困難に対するコルチコステロイドの有効性			
CQ の構成要素			
P (Patients, Problem, Population)			
性別	指定なし		
年齢	成人		
疾患・病態	がん患者・主要気道閉塞		
地理的要件	特になし		
I (Interventions)/C (Comparisons, Controls) のリスト			
I: コルチコステロイドの全身投与			
C: プラセボ, あるいは呼吸困難の緩和目的に用いられたI以外の介入			
O (Outcomes) のリスト			
	Outcome の内容	益か害か	重要度
O1	呼吸困難の緩和	益	9点
O2	Quality of life の向上	益	8点
O3	せん妄	害	8点
O4	せん妄以外の有害事象	害	7点
作成した CQ			
主要気道閉塞 (major airway obstruction; MAO) による呼吸困難を有するがん患者に対して, コルチコステロイドの全身投与は有用か?			